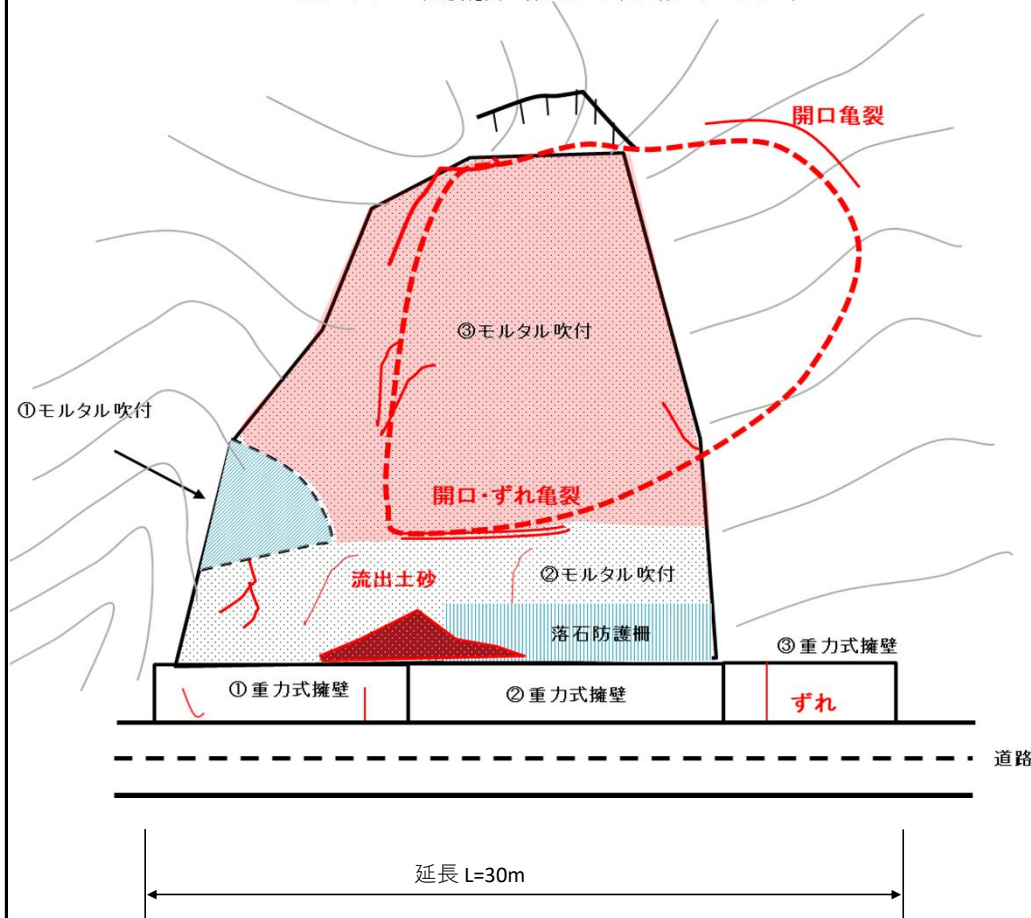


				管理番号	221309-007-0010-1				管理者名	浜松市					
								点検区域名	特-T●●●-0010						
点検の種類	特定道路土工構造物			路線名			路線種別	所在地	起点	静岡県浜松市●●区●●町●●番地●●号			起点側	緯度	34.*****
切土	○			一般国道●●●号			一般国道		終点	静岡県浜松市●●区●●町●●番地●●号			終点側	緯度	137.*****
建設年次(西暦)	延長(m)	最大のり高(m)	代表勾配	1段の高さ			小段数	上下区分	道路情報	緊急輸送道路	バス路線	代替路の有無	D D区間		
1995	30	20	0.5	20			1	上	一般道	二次	非該当	無	非該当		
点検頻度	次回点検 予定年度	前回点検実施年月日		前回判定区分			今回点検実施日	点検時判定区分	経過観測の有無	詳細調査の要・不要	詳細調査(年度)	措置実施日	措置後判定区分		
5年/回	2026	-		-			2021/**/**	III	有	要	2022	2023/**/**	I		
事前通行規制				交通量				被災履歴の有無		被災履歴年		被災発生位置(箇所)		被災内容	
指定の有無	指定の基準	連続雨量	時間雨量	区間名			平日(台/12h)	休日(台/12h)	有		2014		道路区間内		
有	雨量	180mm	-	●●●●			30,600台	28,500台					のり面崩壊		
防災点検実施の有無	防災点検の施設管理番号1	点検ランク1	防災点検年度1	防災点検の施設管理番号2			点検ランク2	防災点検年度2	防災点検の施設管理番号3		点検ランク3	防災点検年度3			
有	J***A***	カルテ	2018	-			-	-	-		-	-			

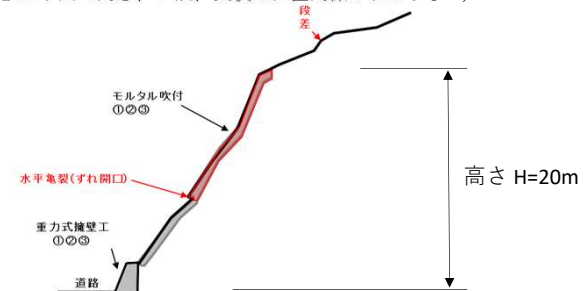
現況スケッチ（点検範囲の各施設の位置関係がわかるもの）



位置図（縮尺1/25000程度）



模式断面図（切土のり面、盛土のり面の高さ、小段、変状の位置関係がわかるもの）



点検時に記録						点検年月日： 20●●/●/●	点検区域名	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
主な構成施設名		構成施設※1	変状の有無	変状の種類	道路機能に対する影響	測定値 (mm)	備考 (写真の有無)	措置	措置の内容		措置実施	
										年	月	日
盛土		-	-									
切土		-	-									
のり面保護施設	CO・モル吹付、石・ブロック張	○	○	開口亀裂	円弧すべりによる崩落	20	変状番号1.写真1.2.3					
	のり枠	-	-									
	グラウンドアンカー等	-	-									
	植生工	-	-									
斜面安定施設	落石防護柵等	○	-	変状無し								
カルバート		-	-									
擁壁	Co擁壁	○	○	ずれ	擁壁の転倒・斜面崩壊	30	変状番号1.写真4					
	ブロック積、井桁組等	-	-									
	補強土壁	-	-									
排水施設	のり面排水、暗渠排水	-	-									
その他	路面	/	-									
	自然斜面	/	○	段差	円弧すべりによる崩落	50	変状番号1.写真5					

※1 点検区域内に当該施設が設置されている場合は「○」、設置されていない場合は「-」

当該点検区域の健全性の診断（判定区分Ⅰ～Ⅳ）

点検結果に基づき記録		措置後に記録			
判定区分	点検時の健全性診断の所見等	主な措置の内容	再判定区分	措置後の健全性診断の所見等	措置実施
					年 月 日
III	周辺斜面に段差が確認されたこと、及びモルタル吹付に開口・ずれ亀裂が確認されたことから円弧すべりの可能性が想定され、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい状態。また、重力式擁壁にはずれが確認されており、上部モルタル吹付部も含め、詳細調査により円弧すべりの範囲・規模について把握する必要がある。				

全景写真（起点側、終点側を記載すること）



全景（正面より）



起点側

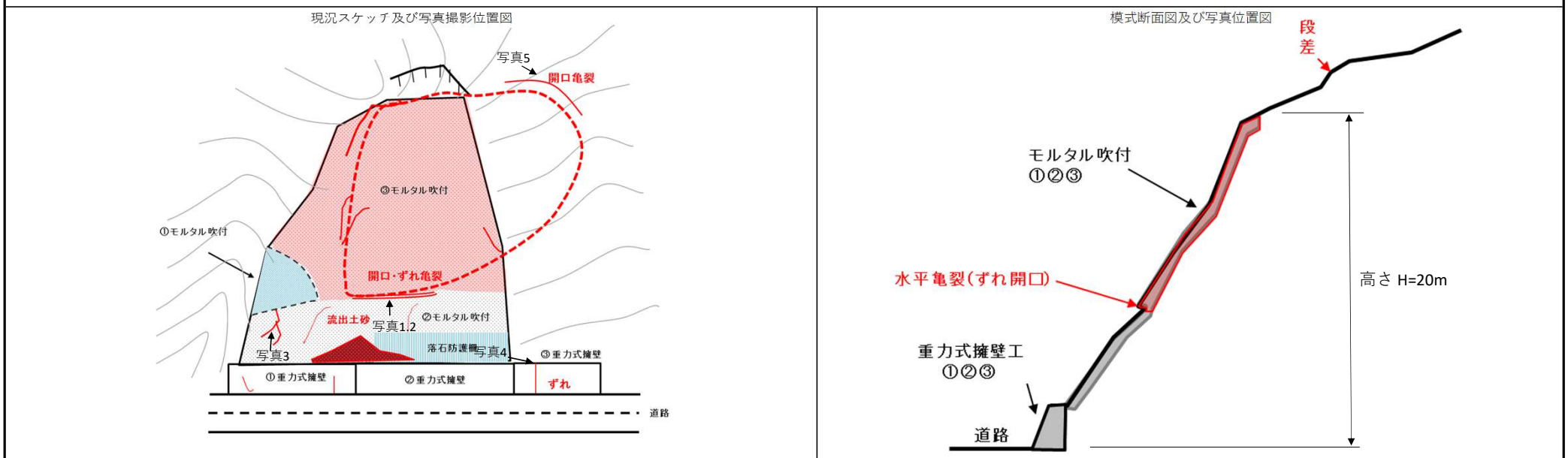


終点側

点検区域名	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
-------	-------------	-----	------	-------	------

全景写真（起点側、終点側を記載すること）

<p>全景（正面より）</p>	<p>起点側</p>	<p>終点側</p>
<p>コメント</p>	<p>コメント</p>	<p>コメント</p>



点検区域名	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
-------	-------------	-----	------	-------	------

○構成施設の変状の状況が確認できる写真を記載のこと。

変状番号		1		変状写真	
					
撮影年月日		20●●/●/●		撮影年月日	
撮影年月日		20●●/●/●		撮影年月日	
撮影年月日		20●●/●/●		撮影年月日	
コメント		開口・ずれ亀裂が確認され、斜面に段差が確認されたことから円弧すべりの可能性が考えられる。		コメント	
コメント		開口・ずれ亀裂が確認され、斜面に段差が確認されたことから円弧すべりの可能性が考えられる。		コメント	
コメント		クラックが多数確認された。		コメント	

変状写真		変状写真		変状写真	
					
撮影年月日		20●●/●/●		撮影年月日	
撮影年月日		20●●/●/●		撮影年月日	
撮影年月日		20●●/●/●		撮影年月日	
コメント		継ぎ目部のずれが確認されたことから、背面斜面からの外力が影響している可能性がある。		コメント	
コメント		周辺斜面に5cm程度の開口亀裂あり。亀裂部に苔が生えており近年発生した亀裂ではない。		コメント	
コメント				コメント	

その他

点検区域名

特-T●●●-0010

点検者

●●●●

点検責任者

●●●●

○維持管理上の留意事項等で、様式(その1～4)に記録しきれない内容(図表等)を記載のこと。

**維持管理上の留意事項等で、
様式(その1～4)に記録しきれない内容(図表等)を記載**

項目	要因	のり面				自然斜面			
		評点区分	該当	配点	評点	評点区分	該当	配点	評点
地形	崩壊を性要つ地形 G1:崖錐地形 G2:崩壊跡地 遷急線明瞭 G3:台地の裾部、脚部浸食、 オーバーハング、集水型斜面、 土石流跡地など G4:尾根先端など凸型斜面、オーバーハング	G1に該当する		3	3	G2の内 複数地形該当		3	4
		G1に該当せず	✓	0		G2の内 1地形該当	✓	2	
		G2,G3の内 複数地形該当	✓	3		G2には 該当なし		0	
		G2,G3の内 1地形該当		2		G1,3の内 複数地形該当		3	
		G2,G31には 該当なし		0	G1,3の内 1地形該当	✓	2		0
		G4に該当する		(6)	G1,31には 該当なし		0	(6)	
土質・地質・構造	の崩壊土質性 浸食に弱い土質 水を含むと強度低下しやすい土質 その他	顕著		8	4	顕著		2	(2)
		やや顕著	✓	4		やや顕著	✓	1	
		該当せず		0		該当せず		0	
の崩壊地質性	割れ目や弱層の密度が高い 浸食に弱い軟岩 風化が速い岩質、その他	顕著	✓	12	12	顕著	✓	8	8
		やや顕著		6		やや顕著		4	
		該当せず		0		該当せず		0	
崩壊構造	流れ盤(層理面、弱線) 不透水性基盤上の土砂 上部が硬質/脚部が脆弱な岩 その他	該当する		8	4	該当する		2	3
		該当せず	✓	0		該当せず	✓	0	
		顕著		6		顕著		4	
		やや顕著	✓	4	やや顕著	✓	3		0
		該当せず		0	該当せず		0	(14)	(6)
表層の状況	表土及び浮石・転石の状況	不安定		12	6	不安定		24	12
		やや不安定	✓	6		やや不安定	✓	12	
		安定		0		安定		0	
	浮石・転石が不安定～やや不安定	該当する	✓	(12)	該当する	✓	(24)		
湧水状況	湧水あり しみ出し程度 なし	湧水あり	✓	8	8	湧水あり	✓	4	4
		しみ出し程度		4		しみ出し程度		2	
		なし		0		なし		0	
表面の被覆状況	裸地～植生主体 複合(植生・構造物) 構造物主体	裸地～植生主体		5	3	裸地～植生(草本)		16	6
		複合(植生・構造物)	✓	3		複合(裸地・草本・木本)		10	
		構造物主体		1		木本主体	✓	6	
形状	勾配(i)、高さ	H>30m		18	10	H≥50m	✓	10	(10)
		H≤30, i>標準		15		30≤H<50m		8	
		i≤標準, 15≤H<30		10		15≤H<30m		6	
		i≤標準, H<15		5		H<15m		4	
		H≥50m		18	10	i≥70°		10	5
		30≤H<50m		16		45°≤i<70°		10	
		15≤H<30m		12		i<45°	✓	5	
		H<15m	✓	10				(10)	
合計	のり面 : 50 点 (A1)				自然斜面 : 53 点 (A2)				



	安定度調査表	
	のり面 評価点	自然斜面 評価点
① 評価点	50 点	53 点
② 満点	83 点	86 点
判定基準値 (①/②) × 100	60	62



被災ポテンシャル評価		
判定	判定基準値	該当
大	70以上	
中	41～69	○
小	40未満	

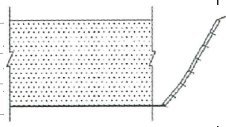
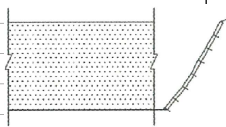
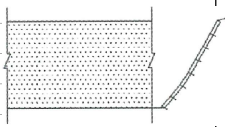
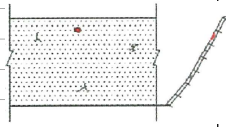
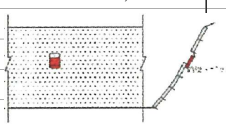
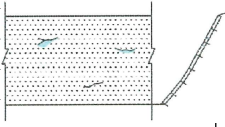
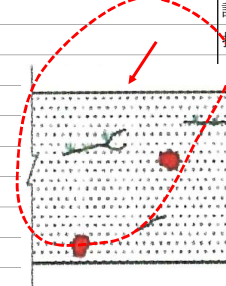
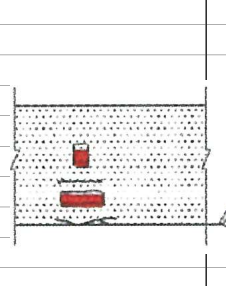
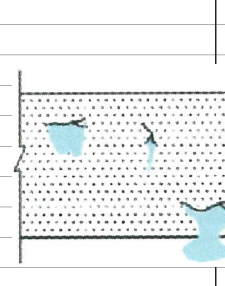
点検区域	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
------	-------------	-----	------	-------	------

評価範囲 (モルタル吹付①)

対策工	吹付工						施設性能低下の判定結果
	ひび割れ,剥離		孕みだし,隙間,空洞,沈下,陥没(ずり落ち)		湧水		
	項目	着眼点	項目	着眼点	項目	着眼点	
損傷レベル	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	
a	変状なし	吹付面全面の目視	変状なし	吹付全面の目視点検	常時の湧水や降雨時の	吹付全面の目視点検	
	軽微なひび割れ	経年数の確認	()	地山の変状	湧水などの痕跡が未確認	地山の変状	
	()			(経過観察)	()	経年数の確認	
						(経過観察)	
b	表面の部分的な剥離(薄い剥離)	亀裂の状況, 亀裂の分布	孕みだし	孕みだしの原因の追究	常時の湧水や降雨時の	湧水箇所の特定	
	あまり開口していないひび	経年数の確認	隙間	応急処置方法の検討	湧水などの痕跡を確認	周辺部の劣化の確認	
	割れが複数箇所確認	斜面の立地条件(日照時間, 方角, 気象条件)の確認	空洞	斜面の立地条件(日照時間, 方角, 気象条件)の確認	()	植生繁茂の状況確認	
	()	(経過観察)	沈下	方角, 気象条件)の確認		背面地山の地質状況の確認	
			陥没(ずり落ち)	(経過観察)		(経過観察)	
			が局所的に発生				
			()				
c	大きく厚い剥離が多数確認	亀裂の分布, 亀裂間隔	孕みだし	経年変化の確認	常時の多量湧水や降雨時の	湧水箇所の特定, 湧水量	-
	広範囲に連続する開口・	浮き, 沈下の度合い	隙間	孕みだしの範囲特定	湧水などの痕跡がほとんど	詳細点検の計画(サーモ,	
	段差を伴うひび割れが発生	背面地山の地質条件(風	空洞	詳細点検の計画(サーモ,	の延長で確認	打音, 写真撮影)	
	(ひび割れ箇所から植生	化の度合い)	沈下	打音, 写真撮影)	()	背面地山の地質状況と湧	
・土砂のこぼれなど)	湧水箇所, 植生繁茂状況	陥没(ずり落ち)	不良部の落下災害防止のた		水の相関性の検討		
()	斜面の立地条件(日照時間,	などの変状が多数発生	めの応急処置の実施		恒久対策の計画		
	方角, 気象条件)の確認	()	恒久対策検討				
	詳細点検の計画(サーモ,						
	打音, 写真撮影)						
各項目の損傷レベル	-		-		-		

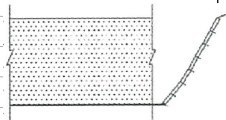
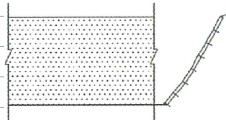
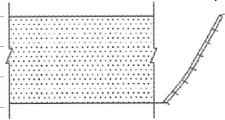
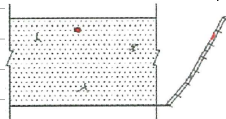
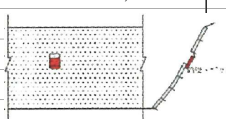
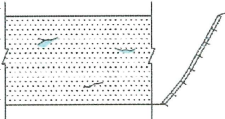
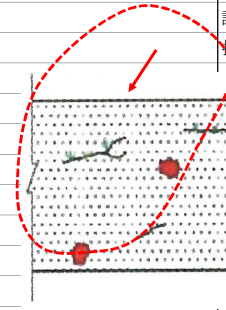
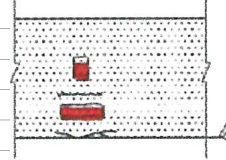
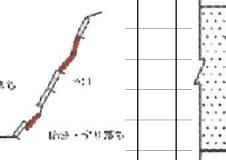
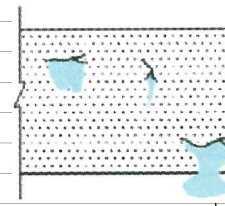
点検区域	特-T●●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
------	--------------	-----	------	-------	------

評価範囲 (モルタル吹付②)

対策工 項目 損傷レベル	吹付工						施設性能 低下の 判定結果	
	ひび割れ,剥離		孕みだし,隙間,空洞,沈下,陥没(ずり落ち)		湧水			
	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点		
a	変状なし	吹付面全面の目視	✓ 変状なし	吹付全面の目視点検	✓ 常時の湧水や降雨時の	吹付全面の目視点検	B	
	軽微なひび割れ ()	経年数の確認	()	地山の変状 (経過観察)	湧水などの痕跡が未確認 ()	地山の変状 経年数の確認 (経過観察)		
								
b	表面の部分的な剥離(薄い剥離)	亀裂の状況, 亀裂の分布	孕みだし	孕みだしの原因の追究	常時の湧水や降雨時の	湧水箇所の特定		
	✓ あまり開口していないひび割れが複数箇所確認	経年数の確認	隙間	応急処置方法の検討	湧水などの痕跡を確認 ()	周辺部の劣化の確認		
	✓ (具体例を記載)	斜面の立地条件(日照時間, 方角, 気象条件)の確認 (経過観察)	空洞	斜面の立地条件(日照時間, 方角, 気象条件)の確認 (経過観察)		植生繁茂の状況確認		
			沈下	方角, 気象条件)の確認 (経過観察)		背面地山の地質状況の確認 (経過観察)		
								
c	大きく厚い剥離が多数確認	亀裂の分布, 亀裂間隔	孕みだし	経年変化の確認	常時の多量湧水や降雨時の	湧水箇所の特定, 湧水量		
	広範囲に連続する開口・段差を伴うひび割れが発生(ひび割れ箇所から植生・土砂のこぼれなど)	浮き, 沈下の度合い 背面地山の地質条件(風化の度合い) 湧水箇所, 植生繁茂状況	隙間	孕みだしの範囲特定	湧水などの痕跡がほとんど の延長で確認 ()	詳細点検の計画(サーモ, 打音, 写真撮影)		
		斜面の立地条件(日照時間, 方角, 気象条件)の確認 詳細点検の計画(サーモ, 打音, 写真撮影)	空洞	詳細点検の計画(サーモ, 打音, 写真撮影)		背面地山の地質状況と湧水の相関性の検討 恒久対策の計画		
			沈下	不良部の落下災害防止のための応急処置の実施 恒久対策検討				
								
各項目の 損傷レベ ル	b		a		a			

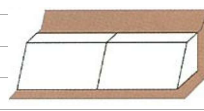
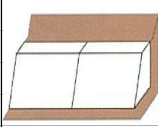
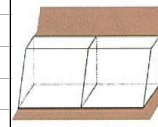
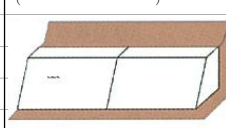
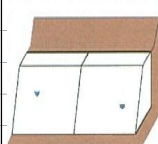
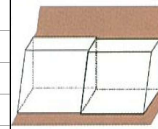
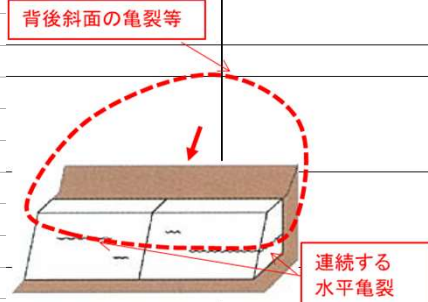
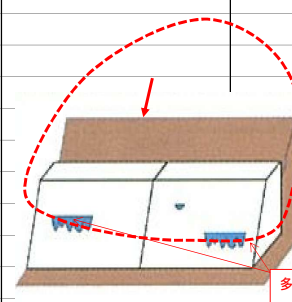
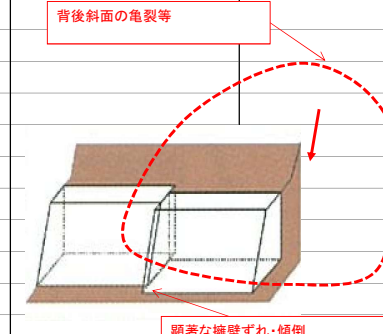
点検区域	特-T●●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
------	--------------	-----	------	-------	------

評価範囲 (モルタル吹付③)

対策工	吹付工						施設性能低下の判定結果
	ひび割れ,剥離		孕みだし,隙間,空洞,沈下,陥没(ずり落ち)		湧水		
	項目	着眼点	項目	着眼点	項目	着眼点	
損傷レベル	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	
a	変状なし	吹付面全面の目視	変状なし	吹付全面の目視点検	✓ 常時の湧水や降雨時の	吹付全面の目視点検	C
	軽微なひび割れ	経年数の確認	()	地山の変状	湧水などの痕跡が未確認	地山の変状	
	()			(経過観察)	()	経年数の確認 (経過観察)	
							
b	表面の部分的な剥離(薄い剥離)	亀裂の状況, 亀裂の分布	孕みだし	孕みだしの原因の追究	常時の湧水や降雨時の	湧水箇所の特定	C
	あまり開口していないひび	経年数の確認	✓ 隙間	応急処置方法の検討	湧水などの痕跡を確認	周辺部の劣化の確認	
	割れが複数箇所確認	斜面の立地条件(日照時間, 方角, 気象条件)の確認 (経過観察)	空洞	斜面の立地条件(日照時間, 方角, 気象条件)の確認 (経過観察)	()	植生繁茂の状況確認	
	()		沈下	方角, 気象条件)の確認 (経過観察)		背面地山の地質状況の確認 (経過観察)	
							
c	大きく厚い剥離が多数確認	亀裂の分布, 亀裂間隔	孕みだし	経年変化の確認	常時の多量湧水や降雨時の	湧水箇所の特定, 湧水量	C
	✓ 広範囲に連続する開口・	浮き, 沈下の度合い	隙間	孕みだしの範囲特定	湧水などの痕跡がほとんど	詳細点検の計画(サーモ,	
	段差を伴うひび割れが発生	背面地山の地質条件(風	空洞	詳細点検の計画(サーモ,	の延長で確認	打音, 写真撮影)	
	(ひび割れ箇所から植生	化の度合い)	沈下	打音, 写真撮影)	()	背面地山の地質状況と湧	
・土砂のこぼれなど)	湧水箇所, 植生繁茂状況	陥没(ずり落ち)	不良部の落下災害防止のた		水の相関性の検討		
()	斜面の立地条件(日照時間, 方角, 気象条件)の確認	などの変状が多数発生	めの応急処置の実施		恒久対策の計画		
	詳細点検の計画(サーモ, 打音, 写真撮影)	()	恒久対策検討				
							
各項目の損傷レベル	c		b		a		

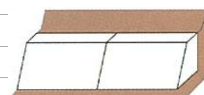
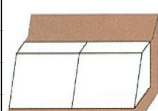
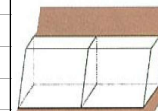
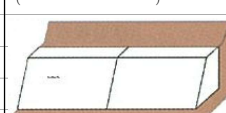
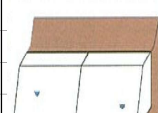
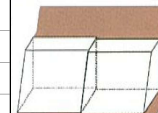
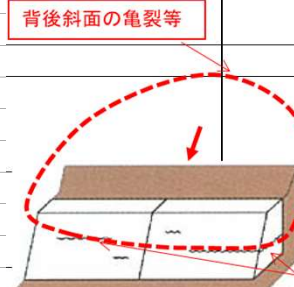
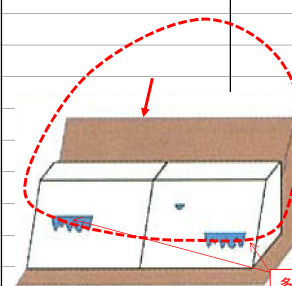
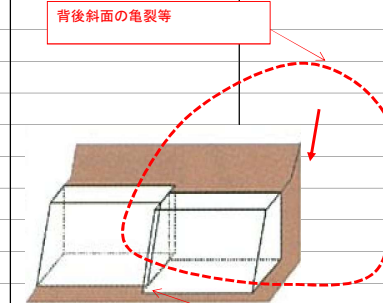
点検区域	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
------	-------------	-----	------	-------	------

評価範囲 (擁壁①)

対策工 項目 損傷レベル	擁壁						施設性能 低下の 判定結果
	ひび割れ		湧水		背面地山による生育障害(酸性土壌,土壌硬度,法面勾配)		
	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	
a	変状なし ()	天端・法尻の通りの点検 経年数の確認 CO表面の経年変化 (経過観察)	✓ 変状なし ()	経年数の確認 (経過観察)	✓ 変状なし ()	中詰材の経年劣化 地山の凹凸 (経過観察)	B
							
b	✓ 部分的なひび割れ 背面の到達しないひび割れ 吸出箇所未発生 ()	待受部の上方の斜面(法面) の安全度評価(落石等) ひび割れ範囲の特定 (経過観察) 法尻部の路面の不陸状況 場合によっては,上部斜面 の詳細調査	部分的に湧水の確認 背面土砂吸出し無 ()	湧水箇所の特定 常時と降雨時における湧水 量の変化を計測 湧水箇所の周辺のコンク リートの劣化度合いの把握 (経過観察)	継ぎ目のずれ,移動等の確認 ()	孕みだしの原因の考察 上方斜面(法面)の点検,診断 継ぎ目ずれの経年変化監視 (経過観察) (場合によっては,要 応急対策)	
							
c	広範囲に連続したひび割れ 背面まで到達するひび割れ 背面土砂の吸出し確認 ()	ひび割れの状況把握 ひび割れの原因の追究 安定解析の実施 恒久対策の検討 上方斜面(法面)の安定解析	広範囲に湧水の確認 背面土砂の吸出しを確認 ()	湧水箇所,湧水量の詳細 吸出し部の背面地山の調査 (空洞状況,風化度合い) コンクリートの劣化度合い の調査 安定解析の実施 恒久対策検討	顕著な変形(孕みだし) 顕著な変形(傾き) 顕著な変形(継ぎ目のずれ) 顕著な変形(移動) 等の確認 ()	待受擁壁と上方斜面(法面) 下方の地形(道路,宅地等) を含んだマクロ的安定解析 変形原因,メカニズムの特定 上方斜面(法面)の安定対策工の実施 待受擁壁の補強工法の検討 (要 恒久対策)	
							
	背後斜面の亀裂等		連続する 水平亀裂		背後斜面の亀裂等		
				多量湧水・土砂		顕著な擁壁ずれ・傾倒	
各項目の 損傷レベル	b		a		a		

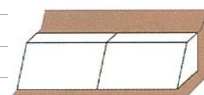
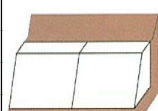
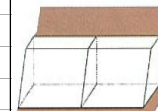
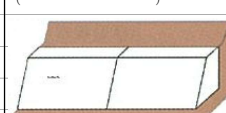
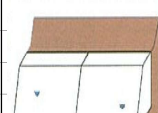
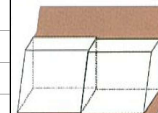
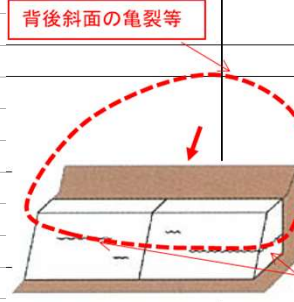
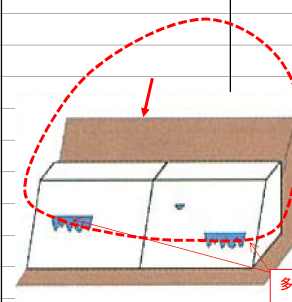
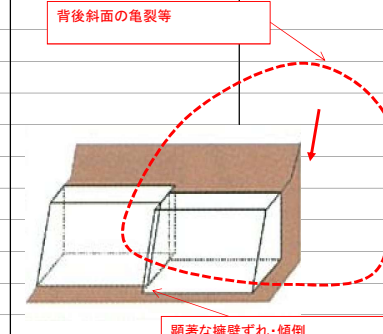
点検区域	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
------	-------------	-----	------	-------	------

評価範囲 (擁壁②)

対策工 項目 損傷レベル	擁壁						施設性能 低下の 判定結果	
	ひび割れ		湧水		背面地山による生育障害(酸性土壌,土壌硬度,法面勾配)			
	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点		
a	✓ 変状なし () 	天端・法尻の通りの点検 経年数の確認 CO表面の経年変化 (経過観察)	✓ 変状なし () 	経年数の確認 (経過観察)	✓ 変状なし () 	中詰材の経年劣化 地山の凹凸 (経過観察)	A	
	b	部分的なひび割れ 背面の到達しないひび割れ 吸出箇所未発生 () 	待受部の上方の斜面(法面) の安全度評価(落石等) ひび割れ範囲の特定 (経過観察) 法尻部の路面の不陸状況 場合によっては,上部斜面 の詳細調査	部分的に湧水の確認 背面土砂吸出し無 () 	湧水箇所の特定 常時と降雨時における湧水 量の変化を計測 湧水箇所の周辺のコンク リートの劣化度合いの把握 (経過観察)	継ぎ目のずれ,移動等の確認 () 		孕みだしの原因の考察 上方斜面(法面)の点検,診断 継ぎ目ずれの経年変化監視 (経過観察) (場合によっては,要 応急対策)
c	広範囲に連続したひび割れ 背面まで到達するひび割れ 背面土砂の吸出し確認 () 	ひび割れの状況把握 ひび割れの原因の追究 安定解析の実施 恒久対策の検討 上方斜面(法面)の安定解析	広範囲に湧水の確認 背面土砂の吸出しを確認 () 	湧水箇所,湧水量の詳細 吸出し部の背面地山の調査 (空洞状況,風化度合い) コンクリートの劣化度合い の調査 安定解析の実施 恒久対策検討	顕著な変形(孕みだし) 顕著な変形(傾き) 顕著な変形(継ぎ目のずれ) 顕著な変形(移動) 等の確認 () 	待受擁壁と上方斜面(法面) 下方の地形(道路,宅地等) を含んだマクロ的安定解析 変形原因,メカニズムの特定 上方斜面(法面)の安定対策工の実施 待受擁壁の補強工法の検討 (要 恒久対策)		
	背後斜面の亀裂等	連続する水平亀裂	多量湧水・土砂	背後斜面の亀裂等	顕著な擁壁ずれ・傾倒			
	a	a	a	a				
各項目の 損傷レベル	a		a		a			

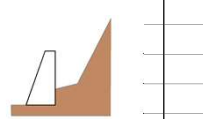
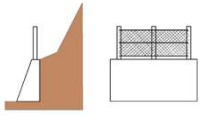
点検区域	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
------	-------------	-----	------	-------	------

評価範囲 (擁壁③)

対策工 項目 損傷レベル	擁壁						施設性能 低下の 判定結果	
	ひび割れ		湧水		背面地山による生育障害(酸性土壌,土壌硬度,法面勾配)			
	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点		
a	変状なし ()	天端・法尻の通りの点検 経年数の確認 CO表面の経年変化 (経過観察)	✓ 変状なし ()	経年数の確認 (経過観察)	変状なし ()	中詰材の経年劣化 地山の凹凸 (経過観察)	C	
								
b	✓ 部分的なひび割れ 背面の到達しないひび割れ 吸出箇所未発生 ()	待受部の上方の斜面(法面) の安全度評価(落石等) ひび割れ範囲の特定 (経過観察) 法尻部の路面の不陸状況 場合によっては,上部斜面 の詳細調査	部分的に湧水の確認 背面土砂吸出し無 ()	湧水箇所の特定 常時と降雨時における湧水 量の変化を計測 湧水箇所の周辺のコンク リートの劣化度合いの把握 (経過観察)	継ぎ目のずれ,移動等の確認 ()	孕みだしの原因の考察 上方斜面(法面)の点検,診断 継ぎ目ずれの経年変化監視 (経過観察) (場合によっては,要 応急対策)		
								
	広範囲に連続したひび割れ 背面まで到達するひび割れ 背面土砂の吸出し確認 ()	ひび割れの状況把握 ひび割れの原因の追究 安定解析の実施 恒久対策の検討 上方斜面(法面)の安定解析	広範囲に湧水の確認 背面土砂の吸出しを確認 ()	湧水箇所,湧水量の詳細 吸出し部の背面地山の調査 (空洞状況,風化度合い) コンクリートの劣化度合い の調査 安定解析の実施 恒久対策検討	顕著な変形(孕みだし) 顕著な変形(傾き) ✓ 顕著な変形(継ぎ目のずれ) 顕著な変形(移動) 等の確認 ()	待受擁壁と上方斜面(法面) 下方の地形(道路,宅地等) を含んだマクロ的安定解析 変形原因,メカニズムの特定 上方斜面(法面)の安定対策工の実施 待受擁壁の補強工法の検討 (要 恒久対策)		
								
c	背後斜面の亀裂等 連続する水平亀裂		多量湧水・土砂		背後斜面の亀裂等 顕著な擁壁ずれ・傾倒			
各項目の 損傷レベル	b		a		c			

点検区域	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
------	-------------	-----	------	-------	------

評価範囲 (-)

対策工 項目 損傷レベル	落石防止柵工								施設性能 低下の 判定結果	
	鋼材の損傷, 変形, 腐食, 劣化		基礎コンクリートのひび割れ		基礎コンクリートの湧水		背面地山による障害			
	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点	事象レベル	着眼点		
a	✓ 変状なし ()	落石・崩壊状況の確認 (経過観察)	✓ 変状なし 軽微なクラック ()	天端・法尻の通りの点検 表面の経年変化 (経過観察)	✓ 変状なし ()	経年数の確認 (経過観察)	✓ 変状なし ()	地山の凹凸(岩盤のゆるみ) 落石・崩壊状況の確認 (経過観察)	0	
										
b	一部劣化, 損傷, 変形が みられる ()	落石・崩壊状況の確認 (経過観察, 計測)	亀裂, 変形(はらみ出し) 変形(継ぎ目のずれ) 変形(傾き) 変形(移動) が部分的に生じている ()	変状部の上方・下方斜面 の安全度評価 ひび割れ範囲の特定 (経過観察, 計測) 法尻部の路面の不陸状況 場合によっては, 背後斜面 の詳細調査 (計測, 調査)	部分的に湧水の確認 背面・基礎部の土砂吸出し なし ()	湧水箇所の特定 常時と降雨時における湧水 量の変化を計測 湧水箇所の周辺の劣化 度合いの把握 (経過観察, 計測)	土砂堆積が生じているが 空容量の大きな減少は 確認されない ()	落石・崩壊発生状況の確認 (計測, 調査) アンカー固定部, ワイヤー, 金網の地山接触部の 腐食, 劣化		
										
c	支柱の変形, ワイヤー・ 金網の破断など顕著な 変状が多数みられ, ほか の変状等に連続している ()	落石・崩壊発生状況の確認 (計測, 調査) アンカー固定部, ワイヤー, 金網の地山接触部の 腐食, 劣化 (要 安定度調査) (要 応急対策)	亀裂, 変形(はらみ出し) 変形(継ぎ目のずれ) 変形(傾き) 変形(移動) が広範囲に生じている 基礎部の変形と地山や周辺 構造物の変状が連続する ()	ひび割れの状況把握 ひび割れの原因の追究 (要 安定度調査) (要 応急対策)	広範囲に湧水の確認 背面・基礎部の土砂吸出し 等の確認 地山の変状と周辺構造物の 変状が連続する ()	湧水箇所, 湧水量の詳細 吸出し部の背面地山の調査 (空洞状況, 風化度合い) 劣化度合いの調査 (要 応急対策)	土砂堆積が生じ, 空容量の 大きな減少が確認される 地山の変状と周辺構造物の 変状が連続する ()	落石・崩壊発生状況の確認 (計測, 調査) アンカー固定部, ワイヤー, 金網の地山接触部の 腐食, 劣化 (要 安定度調査) (要 応急対策)		
			 背後斜面の亀裂等 連続する		 多量湧水・土砂					
各項目の 損傷レベ ル	a		a		a		a			

点検箇所・所在地・管理者名等

点検区域名

特-T●●●-0010

点検者

●●●●

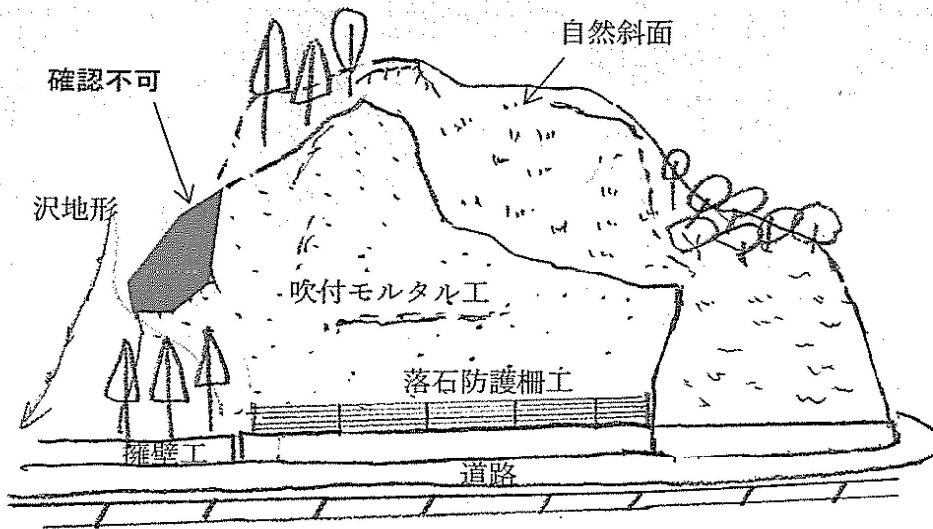
点検責任者

●●●●

遠望目視・現地確認 (写真・スケッチ等)



遠望写真



現場の制約条件

・斜面下の道路は片側2車線で供用しており、交通量も多い。(3,000台/日)

点検作業計画

①現地作業

- ・のり面上部のモルタル吹付点検時にはUAVにより点検方法が最善であると
考えられるため、管理者と協議し点検方法を決定する必要がある。
- ・その他の部分については近接目視可能と考えられる。

②事前準備

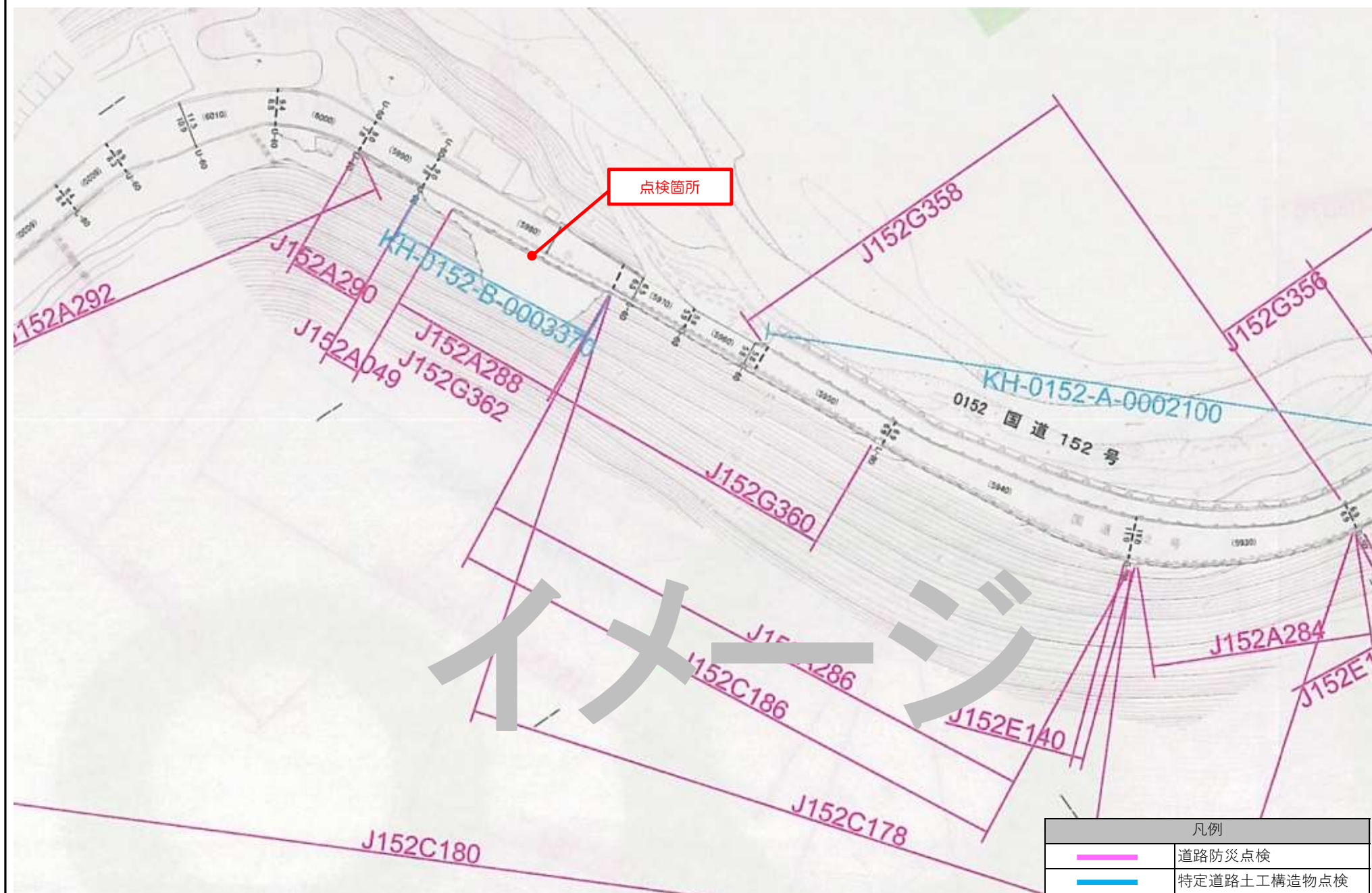
- ・モルタル吹付の一部において草が覆い茂っているため伐採が必要であり、管
理者と協議が必要。
- ・点検時に通行規制が必要 (公安委員会協議・交通整理人配備)

③その他

- ・緊急時の連絡体制の整備
- ・点検実施工程
- ・ヘルメット、安全带、安全チョッキの着用及び始業前点検の実施

点検区域名	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
防災点検実施の有無	有	防災点検の施設管理番号1	J***A***	点検ランク1	カルテ
		防災点検年度1	2018	防災点検の施設管理番号2	点検ランク2
				防災点検年度2	
				防災点検の施設管理番号3	点検ランク3
					防災点検年度3

重複確認図



イメー

凡例	
—	道路防災点検
—	特定道路土工構造物点検



点検箇所

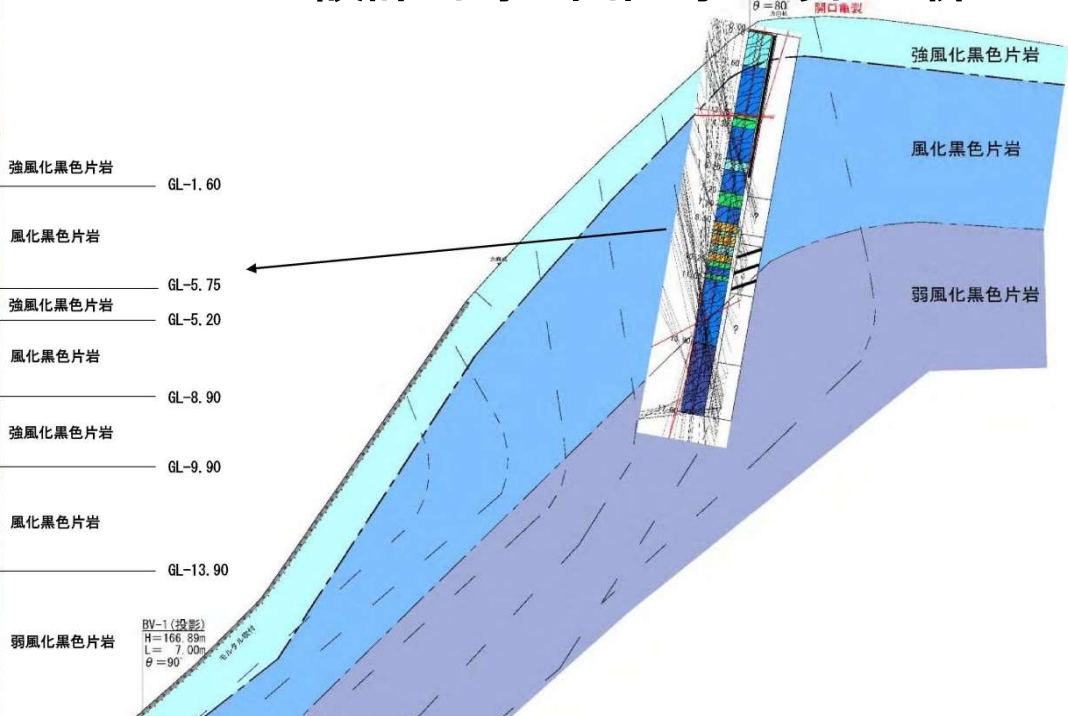
分類	項目	内容	判読記号例 アナログ判読の段階
点検対象 項目に 関連した 災害要因	岩壁崩壊	露岩・壁岩	
		オーバーハング	
	落石	ガレ場(落石堆)	
		転石(規模大)	
	崩壊	浮石(規模大)	
		遷移線	
		明瞭な遷移線	
		崩壊地	
		崩壊跡地	
	崩壊 落石	段差地形・亀裂 (クラック地形)	
裸地・植生の 疎な領域			
土石流	ガリー・勾配の急な 小渓流		
	渓床堆積地		
滝	滝		
点検対象 項目に 関連した 災害要因	地すべり	地すべり滑降崖	
		地すべり移動ブロック	
		地すべり移動方向	
		溝伏凹地・二重山稜	
	窪地		
崩壊・崖壁	崖壁		
土石流堆積物・ 沖積層	扇状地・沖積層・ 土石流堆・土石流段丘		
	段丘	段丘(段丘面)	
その他	大規模土工斜面	大規模土工斜面 (人口改変地)	
		リニアメント	
	断層地形	断層	
		鞍部	
	堰堤	傾斜遷移点	
		砂防堰堤・治山堰堤	
	対策工	落石防護柵	
		落石防護網	
		盛土	
		擁壁	
切土・コンクリート吹付			
橋			

点検区域名	特-T●●●-0010	点検者	●●●●	点検責任者	●●●●
-------	-------------	-----	------	-------	------

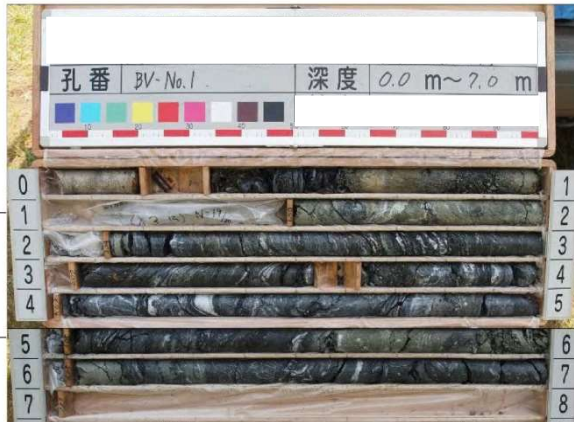
BV-2



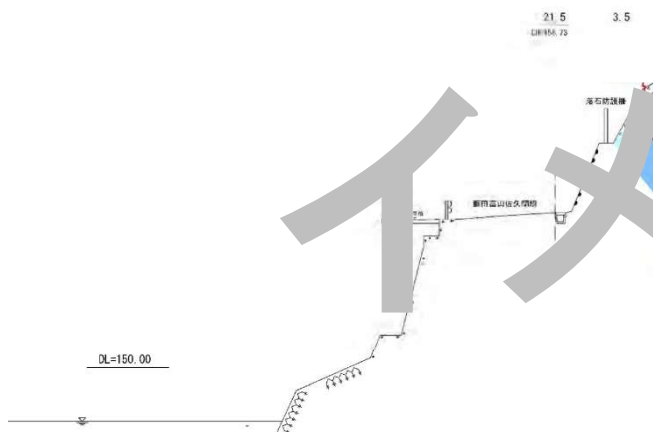
設計当時の図面等があれば併せて整理する



BV-1



不



GL-1.50
風化黒色片岩
GL-6.15
弱風化黒色片岩

